

平成 20 年 8 月 26 日

各 位

東京都中央区日本橋1丁目4番1号
日本橋一丁目ビルディング15階
株式会社シンプレクス・テクノロジー
代表取締役社長 金子 英樹
(コード番号: 4340 東証一部)
TEL 03-3278-6750(代表)

個人投資家向けインターネット取引システム 「SPRINT」債券対応版をオリックス証券が採用

シンプレクスは、UMS 事業(*1)の一環として「SPRINT」(*2) 対応商品に債券を追加

株式会社シンプレクス・テクノロジー(代表取締役社長:金子 英樹 以下:シンプレクス)は、UMS 事業の一環として、金融機関に向けて SaaS(*3)型で提供しているインターネット取引システム「SPRINT(スプリント)」の対応商品に債券を新たに追加しました。

「SPRINT」債券対応版は、オリックス証券株式会社(代表取締役社長:北山 久行 以下:オリックス証券)での採用が既に決定しております。同社は多様化する個人投資家の資産運用ニーズに応じた金融サービスを提供することを目的として、インターネットによる個人向け国債の取り扱いを2008年9月4日から、さらに外国債券の取り扱いを2008年9月8日から新たに開始する予定です。

シンプレクスは、オリックス証券に向けて、同社の顧客(個人投資家)が注文から約定までをインターネットのブラウザ経由で完結できる債券取引システム(以下:「SPRINT Basic」債券対応版)を提供します。

「SPRINT Basic」債券対応版は、豊富な稼働実績を誇るシンプレクス・ライブラリ(*4)を活用しており、約定時の経過利息計算機能や銘柄毎の為替レート・債券単価の提示機能に加えて、価格や為替の変動による資産額変化を確認できるシミュレーション機能等を搭載しています。

さらにシンプレクスはこれらの個人投資家向けシステムに加え、オリックス証券自身が保有することになる自己ポジションに関する時価評価やリスク計算等の幅広い管理機能を、オリックス証券の社内向けシステムとして提供します。なお、社内向けシステムはシンプレクスの債券統合管理システム「Stream」(*5)をベースとして構築されています。

シンプレクスは、「SPRINT Basic」債券対応版と「Stream」とのシームレスな連携を通して、個人投資家向け債券取引機能から全社ポジション・フロントリスク管理まで、トータルサポートを実現します。

なお、当該契約によるシンプレクスの当期業績予想の変更はありません。

UMS 事業:個人投資家向けインターネット取引システム「SPRINT」の主な特徴

シンプルクスが UMS 事業の一環として展開する個人投資家向けインターネット取引システム「SPRINT」は、今回新たに追加された債券のほか、株式(現物・信用)、先物・オプション、外国為替証拠金など豊富な金融商品に対応しています。さらに対応チャネルにおいても、Web ブラウザ対応版から、リッチクライアント(専用のソフトウェアをPCにダウンロードすることで、高い操作性・表現力・機能性を実現するアプリケーションの総称)対応版まで、充実したサービスラインアップを誇ります。

シンプルクスは、自社開発により著作権を保持する「SPRINT」を、SaaS(*5)型サービスとして金融機関に提供しています。そのため、「SPRINT」導入顧客は、システム開発負担を最小限に抑え、短時間で最新機能を備えた個人投資家向け金融サービスを開始することができます。また、導入後もシンプルクスがシステム運用管理主体となり、システムの安定稼働をサポートすることで、顧客のシステム保守負担を軽減します。

さらに、「SPRINT」はシステム利用にともなう顧客の収益に連動した課金体系を採用しています。そのため、顧客のビジネスの拡大がシンプルクスの収益に連動するため、シンプルクスは顧客のビジネスパートナーとして、より密接に個人投資家向け金融サービスを支援することが可能となります。

■「SPRINT」のサービスラインアップ

サービス名称	対応チャネル			対応商品			
	リッチクライアント		Web ブラウザ	株式 (現物・信用)	先物・ オプション	FX	債券
	PC	携帯電話					
SPRINT Pro スプリント・プロ	○			○	○	○	-
SPRINT Mobile スプリント・モバイル		○		○	○	○	-
SPRINT Basic スプリント・ベーシック			●	△	○	○	●

●…本案件に該当する商品・チャネル ○…既に導入実績がある商品・チャネル △…今後対応予定の商品・チャネル

■「SPRINT Basic」債券対応版の主な特徴

売買機能 (個人投資家向けシステム)	インターネット経由で債券の注文から約定までを完結。 新発債・既発債の募集情報の提供、為替レート提示機能を搭載。
ポートフォリオ管理機能 (個人投資家向けシステム)	顧客が資産状況を把握するためのポジション・損益情報の表示機能に加え、為替の変動による資産額変化を確認できる為替変動シミュレーション機能、現在の資産から債券を売買した場合の損益変化を確認できる売買シミュレーション機能を搭載。
Web 取引情報管理機能 (社内向けシステム)	銘柄毎の単価提示、為替レートの提示に加え、販売銘柄の在庫残高編集、注文受付可能時間の登録等、Web 取引に関する情報を登録・編集する機能を搭載。
自己ポジション管理機能 (社内向けシステム)	顧客向け売買の結果を反映した全社ポジションの管理が可能。 時価評価・リスク管理機能を搭載。

■用語解説

(*1) UMS(ユーエムエス)事業

UMS 事業とは、「Universal Market Service(ユニバーサル・マーケット・サービス)事業」の略称です。シンプレクスが自社で企画・投資(開発・保守・運用)を行い、そのシステムを SaaS 型サービスとして金融機関に提供する事業であり、シンプレクスの第二次中期事業計画(2008年3月期～2012年3月期)における主要事業の1つです。顧客がサービスを利用することによって生じた収益に伴って利用料を月額チャージする課金体系が特徴です。これにより、シンプレクスは顧客のビジネスパートナーとして、より密接に顧客のビジネスをサポートすることが可能となります。

(*2) SPRINT(スプリント)

「SPRINT」とは、シンプレクスの個人投資家向けインターネット取引システムの総称です。シンプレクスは、「SPRINT」を SaaS 型サービスとして金融機関に提供しています。金融機関は、「SPRINT」を自社の専用トレーディングツールとして、個人投資家に提供します。なお、現在シンプレクスは、株式(現物・信用)と先物・オプションにそれぞれ対応した、リッチクライアント向け「SPRINT Pro」(PC版)と「SPRINT Mobile」(携帯電話版)をオリックス証券に向けて提供しています。

(*3) SaaS(サーズ)

SaaSとは、「Software as a Service(ソフトウェア・アズ・ア・サービス)」の略で、システムを顧客に納入するのではなく、開発ベンダーが自社でシステムを開発・運用し、そのシステムが実現する機能を、ネットワークを通じて顧客に提供する仕組み・サービスのことを指します。

(*4) シンプレクス・ライブラリ

シンプレクス・ライブラリとは、一切の著作権をシンプレクスが保持することで再利用が可能となる、金融システム開発における独自のノウハウ・機能を集約した部品群(ライブラリ)のことを指します。実際に稼動しているライブラリを開発に使用することで、システムの信頼性・安定性の向上や開発期間の短縮などのメリットがあります。

(*5) Stream(ストリーム)

Streamとは、大手証券会社10社中9社で採用されているシンプレクスの債券統合管理システムです。円債、外債、SWAP、金先、貸株などの取引管理、ポジション・リスク・損益管理、帳票作成、ワークフローに対応しています。さらに、東京証券取引所や外部取引システムとの接続など、フロントからミドル、バックまでの幅広い業務に対応しています。

株式会社シンプレクス・テクノロジー (東証一部:4340 <http://www.simplex-tech.co.jp/>)

シンプレクスは、金融機関のディーリング・リスク管理に代表されるフロント業務(収益業務)分野に向けたシステム開発のリーディングカンパニーです。シンプレクスのシステム・ソリューションは、債券をはじめとして、株式、為替、仕組債、デリバティブ、資金・担保など、ほぼすべての金融商品に対応しています。

シンプレクスは1999年3月期から債券システム・ソリューションを金融機関に向けて提供しています。今回のオリックス証券をはじめとして、公表可能な範囲ではSMBCフレンド証券、岡三証券、新光証券、東海東京証券など数多くの導入実績があります。

サービス導入に関するお問い合わせ先

営業担当:藤野

eMail: info@simplex-tech.co.jp Tel: 03-3278-6750

報道関係の方からのお問い合わせ先

広報/IR担当:平田

eMail: ir@simplex-tech.co.jp Tel: 03-3278-6750